「生徒がわかる、できる」と実感できる授業を求めて

　寒暖差が激しい毎日、時には気温計が 10 度台を示す日があります。本格的な秋の到来を思わすこの頃、大切にしたいのは毎日の授業です。本校においては、「ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり」を研修テーマにわかりやすい板書の書き方や ICT 機器の活用、教員同士の参観授業（互見）や校内研修を続けています。私たちのゴールは、生徒が授業を受けて「わかった！」「できた！」と実感できること。そして生徒自身が自分の言葉で「授業」を語れることです。11 月 11 日（水）には県指定の授業力向上研修会が本校を主会場に行われ、３人の先生方が授業公開を行います。生徒たちとともに、先生方と一丸となって取り組みたいと思います。

